



# さくらまち

豊川市立桜町小学校 学校通信

やさしく かしこく たくましく

令和8年 2月24日発行 第27号

## ハッピーあいさつ週間

2月16日(月)～2月20日(金)に、児童会と交流委員会の合同企画として「ハッピーあいさつ週間」が行われました。「桜っ子のみんなが、元気にあいさつできるようにする」ことが目的です。曜日ごとに担当となった児童会、交流委員会のメンバーは、自分たちが「あいさつリーダー」とな



って、相手に聞こえる声で、相手より先に心をかけてさわやかなあいさつをしました。寒い朝、なかなか声が出なかった桜っ子たちも、だんだん元気にあいさつができるようになりました。今回は、元気にあいさつができた子には、日本赤十字社愛知支部より送られたバッチをプレゼントしました。バッチをもらった子が、さらにあいさつリーダーになって、これからもさわやかなあいさつがあふれる桜町小学校を目指してほしいです。



桜町小学校は令和7年度8年度の2年間、青少年赤十字活動研究推進校の委嘱を受けて取り組んでいます。日々の生活の中から子どもたち自身が気づき、どうすればよりよくなるのかを考え、目的をもって実行する。こうした取り組みを重ねることで、桜町小学校が目指している「自分や友達の良さを認めることができる子」を育てていこうと考えています。桜っ子はあいさつしていても声が小さい子がいたり、仲の良い友達には元気にあいさつできるのに、違う学年の子や地域の人には気軽にあいさつができない子がいたりします。この現状を何とかしようと、委員会がタッグを組んで考え、実行しました。保護者のみなさまも地域のみなさまも、よりよい桜っ子になろうと少しずつ頑張っている子どもたちを、ぜひ見守っていただきたいと思います。

**赤十字バッチは  
すてきな桜っ子のあかし！  
これからも頑張ります！**



## 竹明かり作り

2月16日、桜町フレンズのみなさんと民生委員のみなさんの協力のもと、6年生が「竹明かり作り」を行



いました。ドリルを使ってあらかじめ書いてきた図案に沿って穴をあけていく工程を、マンツーマンで教えていただきました。初めは、恐る恐る扱っていた道具も、だんだんコツをつかむとすいすい進められるようになりました。教えてくれる方が、ずっとそばにいてくれたことが安心につながったことと思います。出来上がった竹明かりをきれいに磨き、電球を入れて光の具合を確認する6年生は、どの子も満足そうな顔をしていました。「家に飾る」と嬉しそうに話している子もいました。とても良い記念になりました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

## 卒業遠足

6年生が1年生だった時、コロナ禍で多くの行事が行われなかったり、形を変えたり、縮小されたりしました。感染が落ち着いて行事が復活してきた頃、「いいなあ、私たちはできなかったのに…。」と、復活した行事を楽しむ下級生を見て寂しく感じている子が多くいるということが伝わってきました。卒業が見えてきた冬休みごろ、6年生の担任から、子どもたちが遠足に行きたいと考えているので、卒業プロジェクトの一つとして取り組ませたいという提案を受けました。そこから始まった卒業遠足企画。低学年の遠足はバスで行きますが、6年生ですから、公共交通機関を使うことも当たり前になります。園内を班別行動でまわるのも、仲良くできます。頼もしい6年生の姿でした。



卒業まで残りの日が少なくなってきました。悔いが残らないように、自分たちで考えた様々なプロジェクトを実行していきましょう。その立派な姿を、1年生から5年生の心に残してほしいと思います。